

平成30年度（2018年度）研究成果公開促進費（国際情報発信強化）計画調書

平成XX年XX月XX日 1版

応募区分		
審査区分	人文・社会	理工 生物
応募団体名		
代表者氏名	(フリガナ)	
	(漢字等)	
代表者職名		
応募団体所在地	〒	
事務連絡先	(氏名)	
	(職名)	
取組の名称		
学術刊行物の名称		
重複応募の有無	(課題番号)	
過去の採択の有無	(課題番号)	
オープンアクセスの時期	年 月	
種別	(種別を選んだ場合で、英文以外の外国語の場合、使用する言語及びその理由)	

1 国際情報発信強化の取組の概要

本欄には、取組内容の特徴と目的、意義及び方法について、今回の取組における新たな点を、これまで行ってきた取組を踏まえつつ具体的に記述してください。図表を用いる等して記述しても構いません。前年度以前に採択された実績がある場合には、当該補助事業においてどのような取組をしたか及び今回の取組との相違点について併せて具体的かつ明確に記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

計画調書出力ボタン

2 国際情報発信強化の取組の目標・評価指標

本欄には、国際情報発信強化に係る取組の全体構想及び具体的な目標設定について、冒頭に10行程度でその概要を簡潔にまとめて記述してください。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 応募時点での学会の国際情報発信の現状。
- ② 助成期間内に何をどこまで強化しようとするのか。

上記について、助成期間の3年目の中間評価時、終了時のそれぞれの評価指標を含め具体的な目標を設定し、数値等で表わせるものについてはその数値も併せて記述してください。

（概要） ※10行程度で簡潔に記述してください。

（詳細） ※概要と合わせて1頁以内で記述してください。

計画調書提出済

3 国際情報発信強化の取組の実施計画・方法

本欄には、国際情報発信強化の目標を達成するための取組内容について、具体的に各年度の実施計画・方法を記述してください。図表を用いる等して記述しても構いません。

また、刊行体制を強化する等の取組を行う場合については、全体像を明らかにするため、組織図を用いて、必要に応じ役割や員数を記述する等、具体的に記述してください。

なお、複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合は、協力団体の数、それぞれの団体名、どのような協力体制をとって行うか役割等も含め、具体的に記述してください。

※1頁以内で記述してください。

計画調書提出予定

4 新たな取組の準備状況

本欄には、新たな取組の準備状況を具体的に記述してください。
複数の学術団体等で協力体制を新たにとって行う場合は、協力体制の準備状況も記述してください。

※1頁以内で記述してください。

国際情報発信強化4

5 重複応募をしている取組内容との相違点

本欄には、Web入力画面の重複応募の有無で「有」を選択した場合、一つの学術団体等もしくは複数の学術団体等で協力体制をとる団体等として、本応募の取組内容が重複応募した取組内容とどのように違うのか、具体的かつ明確に記述してください。（公募要領15頁「(4) 重複応募の制限」参照）

また、「国際情報発信強化」の継続事業課題のある場合は、本応募の取組内容との関係を具体的かつ明確に記述してください。なお、該当しない場合（重複応募「無」の場合）は、「該当なし」と記述してください。

※1頁以内で記述してください。

国際情報発信強化5
計画調書入力欄

補助要求額（千円未満の端数は切り捨てる）

（金額単位：千円）

合計（千円）	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度

明細	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					
必要性・妥当性等					

補助金申請書提出済み

調達に関する ルールの整備状況	制定（予定）
--------------------	--------

著作権ポリシー の整備状況	制定（予定）
------------------	--------

「その他審査資料」 の未提出理由	学会等会則	（未提出理由）
	投稿規程	（未提出理由）
	最新年度決算書	（未提出理由）
	レフェリー制等 の規程	（未提出理由）

国立国語研究所
未提出理由

学術団体等の活動状況

会員数	人
編集委員の人数	人（うち海外の編集委員の人数） 人
学術的質の保証のための組織的な体制の整備について	（規程の名称等）
投稿件数	件（うち海外からの投稿件数） 件
掲載件数	件（うち海外からの掲載件数） 件
論文1件あたりのレフェリー数	人
レフェリーの実人数に占める海外レフェリー数の割合	%
発行部数	部
当該取組に係る学術刊行物の電子化状況	（アクセス数） 件 （PDFダウンロード数） 件
特記事項	
最新の発行状況を示す学術刊行物が掲載されたホームページのURL	
学術団体等の活動状況	

国立学術図書センター

経理管理事務・監査体制

本欄には、「学会、学協会」の経理管理事務体制、監査体制について次の点を記述してください。

- ① 経理管理事務を行う事務組織（機構図、職名、員数、役割）
 - ② 担当事務責任者
 - ③ 経理関係規則等の名称（経理関係規則等については、科研費電子申請システムにアップロードして提出してください。）
 - ④ 監査体制
 - ⑤ 監査実績（平成28年4月1日以降のもの（予定を含む）とし、内部監査、外部監査の別に記述してください。）
- （研究成果公开发表は「主催団体」、国際情報発信強化は「学術団体等」、データベースは「学術団体等」について記述する。）

※経理管理事務体制、監査体制を合わせて1頁以内で記述してください。

計画調書提出完了